

むつみ園 だより 秋号



本部より

最近、日本各地で台風や地震の被害を受けておりますが、皆様は災害に備えてどんなことを心がけてみえますか？

9月14日の法人内研修では、防災訓練センターの竹内様を講師にむかえ、災害への備えについてお話を伺いました。

① 台風に備える

まず、台風が発生したら、天気予報を確認し、いつ台風が接近するか情報を収集します。外に飛ばされやすいものがあれば、天気のいいうちに片付けておく必要があります。また、家族で避難経路の確認をし、停電に備えて懐中電灯やランタンがきちんとつくかチェックしておきましょう。停電した場合は、復旧したときに通電する恐れがあるため、いったんブレーカーを切ります。

大雨で川の水位が上昇すると、高潮や洪水になる恐れもあるので、命を守る行動として、2階以上の建物に避難することも検討します。山の近くに住んでいる方は、土砂災害が起こる恐れもあるので、安全な場所にあらかじめ避難しましょう。過去に土砂災害があった場所は、同じように起こる可能性が高いので、自分が住んでいる地域のハザードマップを確認しておきましょう。

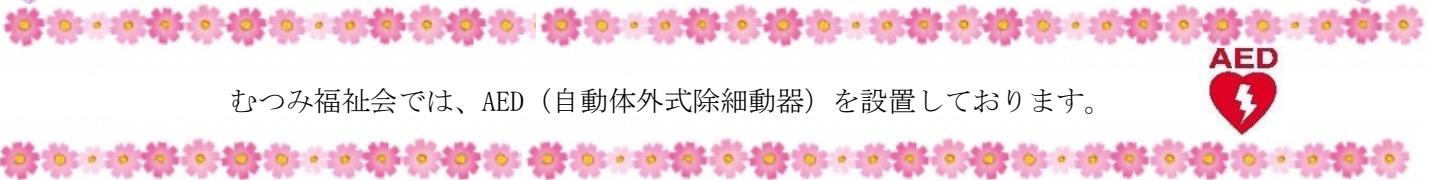
② 地震に備える

揺れを感じたら、まず自分の身は自分で守ってください。揺れが治まったら、非常持出し袋を持って避難しましょう。非常持出し袋の中身は定期的に確認し、いつでも使えるようにしておく必要があります。お薬手帳やメガネなどは避難先にはないので必要な方は持って行きます。また、非常食や飲料水の備蓄は1週間分を用意するようにいわれています。これまで3日分用意すればいいとされできましたが、要救助者の救助を優先しておこなうため、物資が行き渡るまでに最低でも1週間はかかります。このことから、1週間分の用意をしておくことが大切です。

今回の研修で学んだことをこれから防災対策に活かしていきたいと思います。

2018年10月10日 第21号
社会福祉法人 むつみ福祉会
〒515-2331
松阪市嬉野須賀領町477-8
TEL: 0598-48-0800・FAX: 0598-48-0880
責任者: 大北 秀雄

秋の味覚がおいしい季節となりました。
皆様いかがお過ごしでしょうか。
さて、むつみ園だより秋号をお届け
します。



むつみ福祉会では、AED（自動体外式除細動器）を設置しております。



小規模特別養護老人ホーム むつみ園



暑さもようやくやわらぎ、窓からは心地よい秋の風が入ってきます。

毎水曜日の3ユニット合同レクにはボール投げをしたり、歌ったりして楽しんでいます。



9月は敬老会で
みなさんに年齢
の書いたメダルと
プレゼントを
お渡ししました。



本年度100歳を迎える方に内閣総理大臣から
お祝い状と銀杯が贈呈されました。



むつみ福祉会ではAED(自動体外式除細動器)の設置をしています

